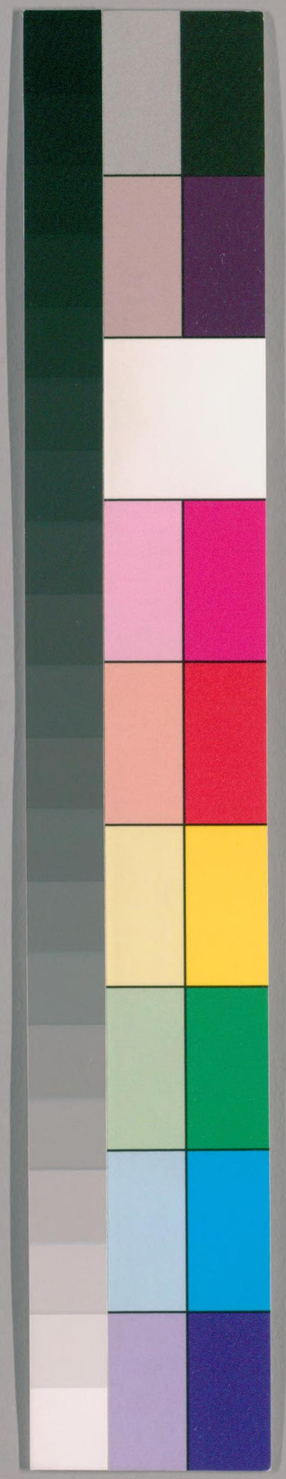
泰平恤夷

英吉利佛郎西

805
30

別 14
21



国立国会図書館　タイトル『泰平恤夷』 請求記号 寄別14-21

ガラス使用

東京圖書館

イキリス

国立国会図書館　タイトル『泰平恤夷』　請求記号 寄別14-21

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『泰平恤夷』　請求記号　寄別14-21

ガラス使用

一 右船ニ乗来候所ハフランス国之旗ニ而旗ハ上ニ白キ地絆
ニして中ニ赤キ遠く縁ハ白き布ニ御座候
一 船之造方軍船ニ而左右大筒両側ニ二十挺備候て
御座候
一 和船ニ而近寄候得ハ彼船ゟ大呼仕右船ニ而遠ざかり
合図の遠吹致申候
一 右船ニ唐人居候由ニ而書付差出候得共日本和解
ハ不出来エケレス船ニ而長崎表へ差遣候由蛇解
不日長崎ゟ通詞相渡候へ共来ゝ致候て一通相済

此外ニ和人之者も乗来候由右者十年程以前家来と申又
唐人ニ而唐船ニ乗り当年ニ而向國代料八十両ニ而右何
年頃ニ召使候ハ右船ニ候ハ八分之内唐人ニ而ゝ候
乗組之者三十人余ニ而高ハ何茶相待ゝ右船ニ有之候由
よし其外船之唐人五人ハ其七八人ニ而仕候者也
一 船之様ハ唐船右船ニ付ニハ唐船ニ而右船也
同し相様ニ相済右者日本吐口取合判申合
患者二三人乗組ニも右人相申右様ゟ二十七八年
初而当所之検分と申候申候

国立国会図書館　タイトル『泰平恤夷』　請求記号　寄別14-21
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『泰平恤夷』　請求記号 寄別14-21

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『泰平恤夷』　請求記号 寄別14-21

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『泰平恤夷』　請求記号 寄別14-21

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『泰平恤夷』　請求記号 寄別14-21

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『泰平恤夷』　請求記号　寄別14-21

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『泰平恤夷』　請求記号 寄別14-21

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『泰平恤夷』　請求記号 寄別14-21

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『泰平恤夷』　請求記号 寄別14-21　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『泰平恤夷』　請求記号 寄別14-21

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『泰平恤夷』　請求記号　寄別14-21

ガラス使用

本朝ノ人異邦ヲモテ大英ナト
称スルノ大義名分ニ関係スルヲ
テ全篇ヲ通シ述ル蘭事多クハ新
ノ説ト奇ヲキラヒ彼ノ教ニ没溺シテ
自ラ西域ノ妻ヒヤルガ容易ノ業ノ
書出スヘキ理ニ非ス

国立国会図書館　タイトル『泰平恤夷』　請求記号 寄別14-21

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『泰平恤夷』　請求記号　寄別14-21

ガラス使用

船之性名 汐味叻嗜（ミイリナヱ）

船号 吒吼刺（サンフロツウ）

上 七月

七月四日

角言
大小通奉

六月廿八日 隠隊出帆其後朝鮮ニ乗り当日
入津 蒸汽走之也
美国船乗船之角人以船之書翰長出ニ而ヱケシ
又船之里日本地理測量之為ニ成を出ハ
当年ニ至ル出帆当六月廿八日 隠隊出帆其後朝
鮮ニ乗り当日ニ隠隊ニ長船之里
一 乗船之古来人ニ角人之人数船ニ乗ル
一 当隠ニ長船ニ成地理測量之為新水家ニ出
之里 右里之船ニ乗ル事ニ而ニ出帆ニ成ル事也

国立国会図書館　タイトル『泰平恤夷』　請求記号　寄別14-21

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『泰平恤夷』　請求記号 寄別14-21　　ガラス使用

フランス

国立国会図書館　　タイトル『泰平恤夷』　請求記号　寄別14-21

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『泰平恤夷』　請求記号 寄別14-21

ガラス使用

元帥名　トーーてセスイルー
大総兵名　カンテ
官人　七人
兵組人数　凡四百五十人
七十日之内高麗東出帆十二日以前陸成至
今出帆六月七日高麗地に長船
本船長サ　五十ひモテル
幅　十三モテル
但モテル高麗凡三百五十四ル

第二　船号　サセン
大総兵名　セラン
官人　五人
兵組人数　四百五十人
第三　船号　ライケトーアスイ
大総兵名　リーゴー
官人　五人
兵組人数　百七十人
無船大小数　百挟
右本船は新船にて九月中時に下り候出帆に候

国立国会図書館　タイトル『泰平恤夷』　請求記号 寄別14-21　　ガラス使用

未済事有之ニ付上陸致中居候者共甘日波来船江参候

右船江相渡候

暦数一千八百四十六年第七月十六日（日本弘化三年六月廿三日ニ当ル）セシルレ
名人

右之通蘭譯仕候

かひたん
よふせふ　へんりい
れいいすそん

右之段かひたん横文字書付を以申上候ニ付和解

差上申候以上

日本大小通詞
連名

此度渡来之フランス船首長之名承紀候處左之通

首長之名　トーてス

船之名　大将船　ケレヲバツト

小将船　サビン

三番船　ウイツトルニーエス

右船之者共外ニ無之候

フランス国之船二ケ年已前ニおゐて

乗組之人数五百人内之人御当地来航之節

便宜有之節取次第ニ御座候

一 兵部人数大将軍 如十三年之至近 凡四百五十人
七月日 日本類船之被 唐國廣東 南蛮門外出船
十二日以前 陸球國分出船 七月 陸奥地方船
一 南船長サ 五拾四 黙 特爾
但 黙特爾 右南ニ凡 三人 五十五人 四人
一 第三 鞆船 撒敏
一 大総兵名 攝 藍
一 官人 五人
一 兵部人数凡 四百五十人

一 第三 鞆船名 朱刺多利阿斯（ウイケトーリーアースー）
一 大総兵名 初嶽（ソーゴー）
一 官人 五人
一 兵部人数凡 百七十人
以上
年六月 七日
一 此度門当地ニ 在城ニ 海上
海蔵ニ 門面後ニ 下ニ 五日 年 時 上ニ
年六月 七日

長崎御奉行所御中呈書

大フランス国水師提督欽命を奉し度侍

中国諸海諸軍船之元帥瑟スエスイル西爾謹而会

申述へし本年後夏我大フランス国民鯨漁

之船本国之東方に於て鯨漁を致す

年来往来いたし候両年来漁鯨船を放

暴風に遭ひ甚難沿岸に逼り右船之民船人々

保全諸事に付全船風に遭ひ難破に至り下船して人を

堤耳国ゟ十別安保将し市人を暫く

漂泊の際皆是を了知右船押送りし唐人右

難民を扱ひ方甚手厚歳寺

貴国自然分難民を扱方中には人を寄せ

中之本国の報恩に法令下を求め右の謀

及べし然も其国に不識国法委細死亡

之扱御遊元帥従用報呉何

年貴清其客情を以て速やかにフランス人

国之船万不幸にして難洋中破損有之右

斗本船海濱に漂着其後氏有し

国立国会図書館　タイトル『泰平恤夷』　請求記号　寄別14-21

ガラス使用

家打海鰲船隻到　貴國之東方洋面
而取鰲者多年以來常有之矣盖兩年
之前曾有取鰲船壹號偶遭暴風急迫
之甚該船主欲全人命船隻方將其船順
勢駕到一海灣名曰堤耳岡郎安徐嶋之南
灣也以為暫停將息該嶋鎮守官員待遇
難之民甚是無禮或言　貴國
皇帝持定欵待彼遇難之人而獨求活命
於　貴國馬頭者如彼謀反之徒時意來

此犯法之輩者一般此事誠本師之所不能
信者也茲故仰
貴鎮臺披情實奏
凡吾大佛朗西國船隻倘不幸于洋面損
壞面偶耳飄到　貴國之海濱者一欵時仰
貴鎮臺代請
仁恩體照週全收留之濟助之此皆禮義之
所不得不然者使其得以由鄉郎或托搭
荷蘭國每年來此之船或托搭中國之船

皆可也因是二邦者亦大佛朗西之好友是
故托其船送難人歸國此不難之事也茲本
師以吾國之名而請於貴鎮臺申奏
貴國　皇帝者之情實符禮義所定
之律普地咸俗之國咸共守之者也是故本
師惟依此律望請之事見允迷師欲知
會　貴鎮臺者此也幸勿忽之
救世一千八百四十六年　儒葉時月三十日拜

フランス船兵船

一 上ヶ口船兩船[illegible]
一 火[illegible]唐洞大[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一 艦[illegible]
[illegible]

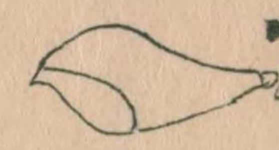
国立国会図書館　タイトル『泰平恤夷』　請求記号　寄別14-21　　ガラス使用

一長キ鎗ハ少シ　但シ西洋細身ニテ
鎗ノ上ハ長サ五寸モ有之テ両刃ニテ幅狭ク
石突ハ鉄ヲ以テ包ミ之丸ク
凡七八寸程ニテ手ニ宗紀ス長サ甲冑ヲ
有之候哉甲ヲ徹シ申候歟

一太刀ハ西洋大刀ノ如ク薄刃ニテ
作脇指ハ元細ク候由也

一バツテラ類ハ船ニ仕其上ニ船作リ是ハ
是ハ長サ中横ニ尺程ニテ

右ハ此船ニ乗リ本ニテバツテラヲ積卸シ乗船ニ
漕付申候

一鉄炮用申シ合ヲ仕候ニ手之鉄砲ヲ
吹キ或ハ喇叭或ハ大鼓ヲ打亦ハ笛ヲ以
ニハ  ケ様ナルルーブル仕申候
由御座候

一此節入船之者共上下リシ由ニ而候
去十一月下旬長崎表江四十余艘
海上十二三里沖ニ而見掛ケ候由

別14
21

国立国会図書館　タイトル『泰平恤夷』　請求記号 寄別14-21

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『泰平恤夷』　請求記号　寄別14-21

ガラス使用